

『人となった「ことば」』

ヨハネの福音書1章14節

はじめに：アドヴェント第2週

1) はじめに「ことば」があった ヨハネ1章1、2節

- ・「ことば」は、天地創造の前から存在していた。
- ・神であることが「ことば」の本質であった。
- ・神と対等であるが、別個の位格性を示している。
- ・継続性を表す動詞の時制

2) 「ことば」は人となった ヨハネ1章14節

- ・「ことば」は肉体を持った。
- ・「ことば」はイエスを指している。バプテスマのヨハネの証言 ヨハネ1:18、26、27
- ・イエスは、100%神、100%人

3) 神が人となられた目的

- ・人類の身代わりとなるため。(十字架への道) ローマ8:3
- ・天の父なる神を人間に示すため。ヨハネ1:18、14:9
- ・忠実な大祭司となるため。(人の経験を味わうため) ヘブル2:17-18
- ・私たちに、清いキリスト者としての模範を示すため。1ヨハネ2:6、1ペテロ2:21

4) キリストの体

- ・教会はキリストの体、キリストに習う者の共同体 1コリント12:27、エペソ1:23
- ・すべては聖霊の助けによって行う
- ・クリスチャンすべてが役割を持っている。

終わりに：2つの招き

～あなたは、キリストの「からだ」となるよう招かれています。
あなたにも、教会の中で神さまが用意された役割があります。～

分かち合いのための質問：

1. 今日のメッセージでもっとも印象に残ったことはなんですか？
2. なぜ、キリストを表すために「ことば」という単語が使われたのでしょうか？
3. 私たちがキリストの「からだ」と例えられたことの意味を考えてみましょう。
4. あなたが今、キリストに習う者として、示されていることは何か考えてみましょう。

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、
わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。」

ヨハネの福音書 14章12節a